

放置竹林を資源化するプロジェクト

ふるさとの創成 株式会社

竹材から、独自製法で「腐植酸・フルボ酸」を実現化



「腐植酸及びフルボ酸」とは、本来自然界の植物が土中に埋もれ何百年の期間を要して創られる腐植物質です。この腐植物質は、土壌微生物のエネルギー源となり、分解されると窒素やリン酸など多くの元素が作物に吸収されやすい形に変化する為、作物根に肥料成分を供給することができます。当社では竹材を原料として、独自の特許製法により短期間で安定した「腐植酸・フルボ酸」の抽出技術を開発しています。

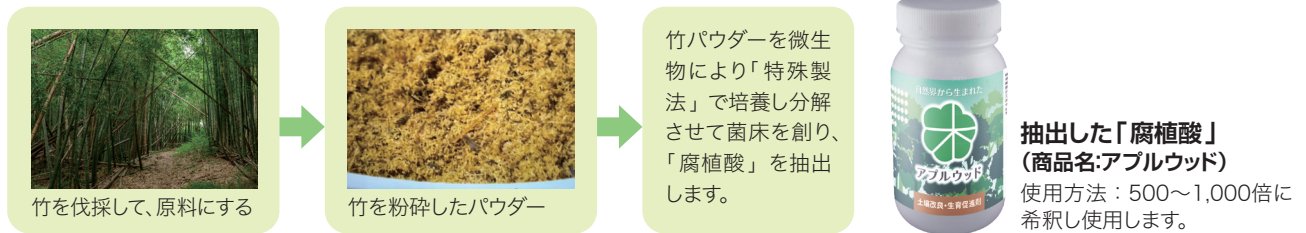
尚、当社の「腐植酸」には「フルボ酸」も含まれており、農地の土壌改良及び耕作放棄地の再生利用に、また農作物の成長促進剤として活用できます。

更に「腐植酸」を道路法面補修の植物育成効果剤として、また海洋沿岸の生態系再生改善対策等(藻場再生)に利用して、海洋汚染や河川及び干潟の生態系の改善につなげる為に、新たな資源活用を試みます。

「腐植酸・フルボ酸製造方法の特許」 ■特許第6835316号 ■特許第6963260号

「腐植酸・フルボ酸の弊社商品名」 ■アブルウッド 商標第6623493号 ■アブルウッドα 商標第6623494号

①「腐植酸」製造の流れと活用事例



竹を伐採して、原料にする → 竹を粉砕したパウダー → 竹パウダーを微生物により「特殊製法」で培養し分解させて菌床を創り、「腐植酸」を抽出します。

抽出した「腐植酸」(商品名:アブルウッド)
使用方法: 500~1,000倍に希釈して使用します。

②抽出した「腐植酸」は、耕作放棄地の再生に土壌改良剤として活用し、また農作物の成長促進剤として使用します。



左: 腐植酸散布前の枝豆農園、右: 腐植酸を散布した枝豆農園
腐植酸を散布すると、葉の成長が大きくなります。



左: 通常栽培の枝豆
右: 腐植酸を使用した枝豆は、ゆでると綺麗な緑色に仕上がりと味も美味しくなります。

③「腐植酸」を、道路「のり面補修剤」の緑化工法と海洋沿岸の生態系再生改善対策等(藻場再生)に利用して、海洋汚染や河川及び干潟の生態系改善につなげます。



のり面の腐植酸を散布する工事



のり面の緑化した風景



荒廃が進む干潟の生態系改善も可能です

ふるさとの創成 株式会社

〒813-0014 福岡県福岡市香椎台3-14-1

090-3323-5983 (縄田) nawata@mspnet.co.jp <https://furusatono-sousei.co.jp>